

平成 20 年度

# 図書館年報



大阪狭山市立図書館

指定管理者 (株)図書館流通センター

# 目次

館の沿革	2
施設・サービス概要	3
1年の活動	4
統計	6
資料展示	12
レファレンス事例	15
ボランティア活動内容	16
指定事業	18
新規提案事業	20
自主事業	22
その他行事	23
研修実績	24
ブログ事例発表	29
受入新聞・雑誌一覧	31
条例・規則等	35
指定管理者概要・沿革	43



大阪狭山市マスコットキャラクター：さやりん

## 館の沿革

昭和	28年(1953年)	5月1日	狭山町立図書館が狭山町立公民館(池尻)2階に開館
	52年(1977年)	5月10日	現在の場所に狭山町立図書館新館開館 823 m <sup>2</sup> 図書館システム導入
	53年(1978年)	4月	自動車文庫「さやま号」巡回開始 貸出冊数上限を3冊から5冊に変更
	58年(1983年)	12月	図書館システム更新
	59年(1984年)	10月	全国図書館大会 日本図書館協会から施設表彰
	60年(1985年)	3月	一般・児童閲覧室増設(現在の一般閲覧室・参考資料室にあたる)120 m <sup>2</sup> 計 944 m <sup>2</sup>
	62年(1987年)	10月1日	市制施行 大阪狭山市立図書館と名称変更
	63年(1988年)	12月	利用者用検索機2台導入
平成	3年(1991年)	1月	自動車文庫新車両に(積載冊数3千冊 4千冊)
	4年(1992年)	4月2日	児童閲覧室増設 457 m <sup>2</sup> 計 1,401 m <sup>2</sup> 1階に駐車場を設置 それまでの児童書コーナーを参考資料室に変更
	8年(1996年)	10月	図書宅配サービス開始
	14年(2002年)	9月30日	WEBサイト開設
		6月	図書館システム更新
	15年(2003年)	4月	ブックスタート開始
	16年(2004年)	6月3日	WEB予約開始
		4月	自動車文庫休止
	17年(2005年)	4月1日	貸出冊数上限を5冊から10冊に変更
	19年(2007年)	4月1日	株式会社図書館流通センターが指定管理者として運営開始
		11月1日	WEBサイトリニューアル、サイト内に「こども読書クラブ」開設
		11月	ブックスタートフォローアップ事業開始
	20年(2008年)	1月	図書館ブログ開始
		4月1日	利用者向けインターネット端末設置
7月		オンラインデータベース導入	
3月31日		図書館システム更新	

## 施設・サービス概要

### 施設概要

名 称	大阪狭山市立図書館
所 在 地	〒589-0012 大阪狭山市今熊一丁目 106 番 TEL:072-366-0071 FAX:072-366-0052
開 館	昭和 52 年(1977 年)5 月 10 日
建物構造	鉄筋コンクリート造 2 階建(公民館併設)
敷地面積	5,238 m <sup>2</sup> (公民館含む)
建築面積	1,024 m <sup>2</sup> (図書館のみ)
延床面積	1,401 m <sup>2</sup> (図書館のみ)

### 主な施設内容

1F	児童書庫 64 m <sup>2</sup> 、一般書庫 42 m <sup>2</sup> 、休憩室 12 m <sup>2</sup>
2F	一般閲覧室 270 m <sup>2</sup> 、児童閲覧室 410 m <sup>2</sup> 、参考資料室 195 m <sup>2</sup> 、 おはなしの部屋 27 m <sup>2</sup> 、事務室 63 m <sup>2</sup> 、倉庫 22 m <sup>2</sup>
駐車場 (公民館と共用)	第 1 駐車場 60 台収容、第 2 駐車場 30 台収容、 身体障がい者用駐車スペース 3 台収容、駐輪場(公民館と共用)30 台収容、 屋外正面階段及びスロープ部分約 800 m <sup>2</sup>

### サービス概要

開 館	9 時 20 時
休 館	月末(ただし土、日、祝日にあたる場合は開館) 年未年始(12 月 29 日 1 月 4 日)
特別整理 期 間	7 日間
年間開館 日 数	345 日
貸 出	10 冊 2 週間、市内在住・在勤・在学者
カウンター	一般と児童に設置

### スタッフ構成

館長	チーフ	サブチーフ	サブチーフ補	スタッフ	計
1	1	1	1	12	16

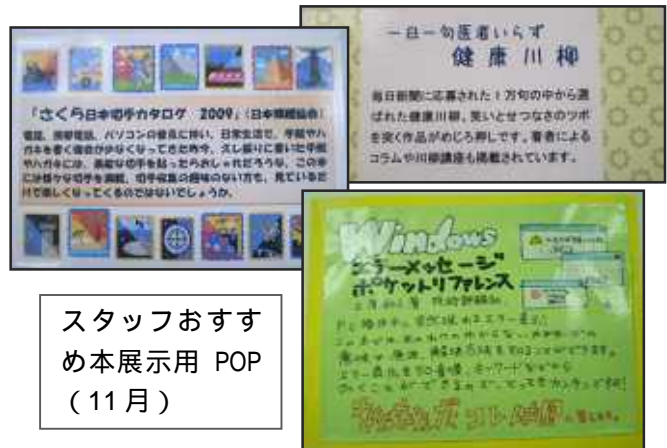
# 1年の活動

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者向けインターネット端末を2機設置。</li> <li>・書庫出納を円滑にするため、書庫を整理し分類順に並べ直した。その作業中に判明した未登録本(約300冊)の登録を開始。</li> <li>・一般閲覧室に大阪狭山の本コーナーを設置。</li> <li>・YAコーナーに「YA情報板」設置。</li> <li>・日本の昔話絵本コーナーを新設。</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乱れのない書架を維持するため、ブックエンドを約150個購入。</li> <li>・児童福祉週間にちなみ、ぼっぼえん(子育て支援センター)で『「えほんとおはなし会」を実施。</li> <li>・乳幼児をもつ保護者に向け総合的な情報提供を目的とし、児童室に子育てコーナーを設置。赤ちゃん絵本や育児関連図書、雑誌を並べた。さらに赤ちゃん絵本を10の内容で細分化した。</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て情報誌「まみたん」に図書館のおはなし会情報を掲載開始。</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインデータベース「JapanKnowledge」(百科事典)と「聞蔵 ビジュアル」(朝日新聞記事)導入。</li> <li>・夏休み中学生図書館体験を実施。</li> <li>・読書感想文コンクール用課題図書に利用が集中するのを避けるため、スタッフおすすめの本をPOP(図案を利用した本の紹介)と共に展示し利用の分散を図った。</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の工作教室実施。飛び出すカード、リサイクル貯金箱づくり。</li> <li>・コインロッカー利用者への便宜のため、カウンターに貸出用100円硬貨を用意した。</li> <li>・一般閲覧室に参考資料の展示コーナーを新設。</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリックビジネス情報誌「月刊 指定管理者制度」9月号に特集記事が掲載される。</li> <li>・子育てコーナーに「子育て情報板」を設置。市の広報に掲載された子育て情報をまとめる。</li> <li>・複写サービスにあたって著作権利用を把握するため、「複写申込書」を作成。</li> <li>・おはなしの部屋にあった大型絵本を利用促進のため児童室おはなしコーナーに移した。</li> <li>・ブックスタートフォローアップの参加者を増やすため、保健センターでのブックスタート実施時に希望者を募って予約受付を開始。</li> <li>・公民館開催の「はばたきフェスタ」で「とびだす絵本展」を出展。しかけ絵本を展示。</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤングアダルト(YA:中高校生)を対象としたYAだよりを創刊(隔月刊)。</li> <li>・予約サービスを変更。未刊図書の予約受付を取りやめた。</li> <li>・ちしきえほんに分類を与え、ラベルを一新して並べ替えた。</li> <li>・運営に市民の意見等を集約し検証、反映させるため、アンケートを実施。</li> <li>・フォト・イラストコンテスト開催。本や読書に関わる写真やイラストを募集。</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般利用者を対象に、良書でありながら利用の少ない図書を選定してPOPと共に展示。</li> <li>・児童閲覧室のりものコーナーの本に分類を付与し、児童向けと幼児向けに大別。</li> <li>・府立中之島図書館にてブログ事例を発表。</li> <li>・中学生の利用促進を図るため、中学校へ出向き学校図書館に対して団体貸出、おはなし会(特別支援学級での開催を含む)、ブックトークを実施。</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度からの雑誌・新聞の受入を見直すため、利用者アンケートを実施。</li> <li>・市マスコットキャラクター「さやりん」(目次に掲載)の画像を印刷物に使用。スタッフもさやりんのバッチを装着。</li> <li>・「YAおすすめコーナー」設置。YA本にPOPをつけて紹介。</li> </ul>

1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォト・イラストコンテスト審査発表。利用者と図書館スタッフによる選考を経て、手作り表彰状と図書カードを添えて表彰した。</li> <li>・一般閲覧室に「オビで読む新着書！」コーナーを設置して新着書の帯を展示した。</li> <li>・参考資料展示としてパブリックコメントの文書と関連資料の紹介を開始。</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カウンター脇に設置されていた人気者コーナーの図書(ゲーム・クイズ・アンパンマン等)を個人情報保護の観点から再配置した。</li> <li>・蔵書点検を実施。不明資料が数百冊あることが判明。</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9類の児童書に分類を付与し、タイトル順から著者名順に並び替える作業が完了。</li> <li>・文庫本の更なる利用促進のため、既存の文庫書架に加え文庫専用書架を購入し約800冊を書庫から移動した。同時に雑誌の一部と新聞架の位置を変更した。</li> <li>・春の工作教室 - 押し花を使ったしおりづくり。</li> <li>・図書館システムを更新。メールでの連絡、館内検索機からの予約、Webからの貸出延長、予約キャンセル等、サービスを向上させた。</li> <li>・指定管理になりはじめて約1,000冊の図書を除籍。</li> </ul>



赤ちゃん絵本(5月)



スタッフおすすめ本展示用 POP (11月)



ブックトーク(11月)



オビで読む新着書!(1月)



とびだす絵本展(9月)

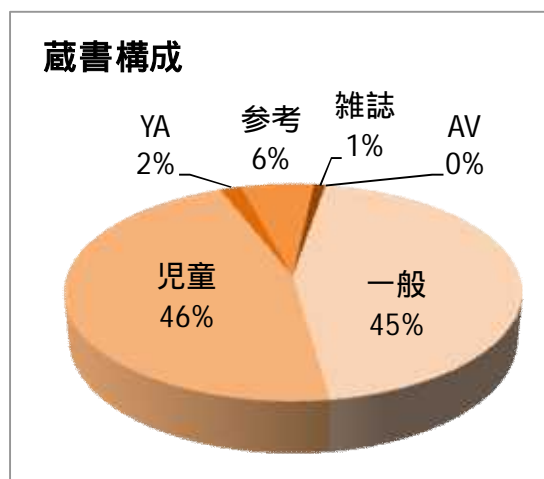


児童書並び替え(3月)

## 統計

### 資料購入実績(単位:円)

資料費	11,500,000
図書	9,873,536
雑誌	946,061
新聞、官報等	680,403



### 蔵書構成

	一般	児童	YA	参考	雑誌	AV	合計
冊数	95,899	98,546	3,712	12,701	2,048	188	213,094
構成比	45%	46.2%	1.7%	6%	1%	0.1%	100%

AV 資料はすべて寄贈による。

### 分類別構成(単位:冊)

	一般	児童	YA	参考
0 類総記	2,204	792	33	1,341
1 類哲学	3,296	386	71	215
2 類歴史	9,387	2,479	86	1,455
3 類社会	10,867	2,374	156	3,364
4 類自然	5,382	7,249	127	693
5 類技術	7,053	1,707	55	678
6 類産業	2,808	997	15	512
7 類芸術	7,328	3,184	99	426
8 類言語	1,502	532	55	347
9 類文学	43,167	32,055	2,879	422
大活字	312			
漫画	1,477	428		
洋書	417	265		
大阪狭山の本	244			711
全国郷土史				2,505
参考機関紙				32
絵本		40,945	136	
紙芝居		3,828		
子育て	455	1,325		

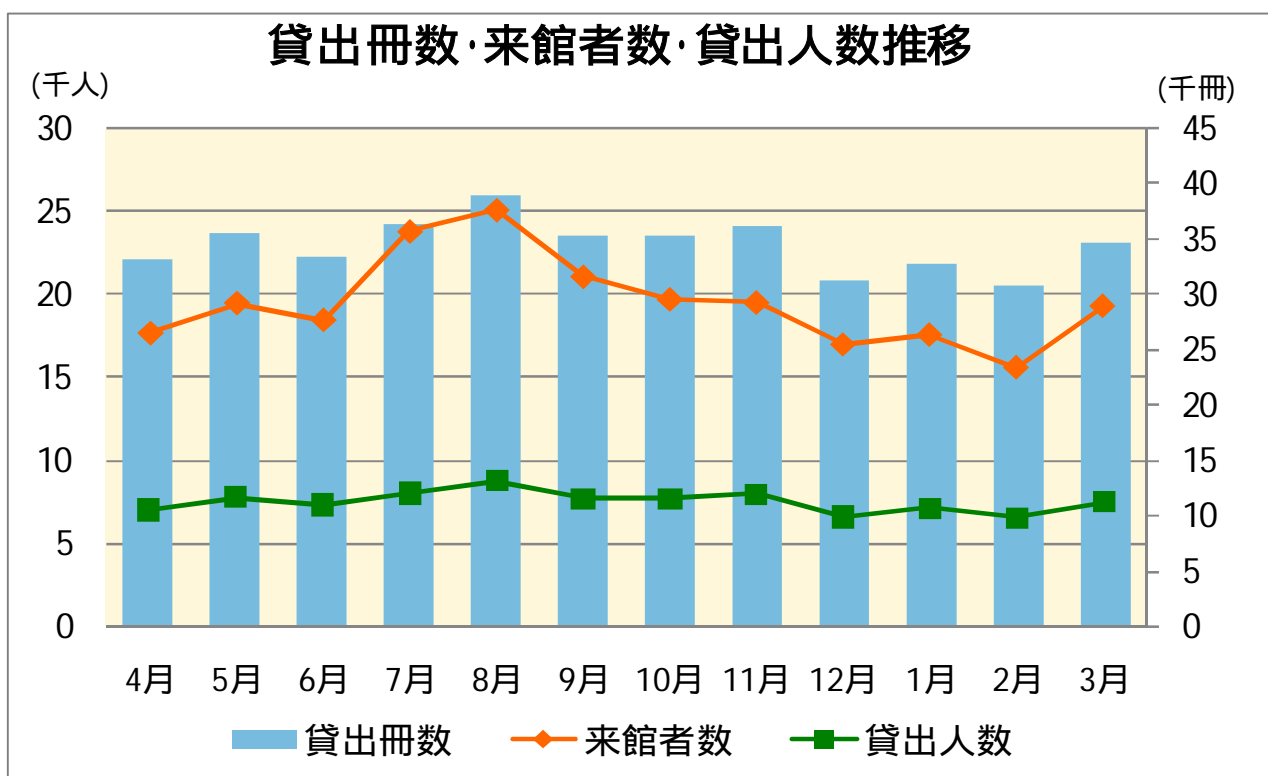
## 貸出冊数

一般	児童	YA	参考資料	雑誌	AV	付録	合計
218,056	166,312	11,727	71	16,278	25	1,874	414,343
52.6%	40.2%	2.8%	0.0%	3.9%	0.0%	0.5%	100%

## 利用状況

	新規登録者数	来館者数	貸出人数	貸出冊数
4月	129	17,655	7,045	33,215
5月	145	19,499	7,822	35,578
6月	112	18,453	7,342	33,427
7月	157	23,850	8,040	36,473
8月	155	25,146	8,807	38,893
9月	117	21,088	7,718	35,425
10月	109	19,710	7,726	35,281
11月	82	19,509	8,001	36,178
12月	74	16,965	6,604	31,297
1月	109	17,556	7,120	32,844
2月	121	15,570	6,580	30,954
3月	138	19,316	7,540	34,778
合計	1,448	234,317	90,345	414,343
19年度	1,558	218,382	88,122	401,586
20/19比率	92.9%	107.3%	102.5%	103.2%

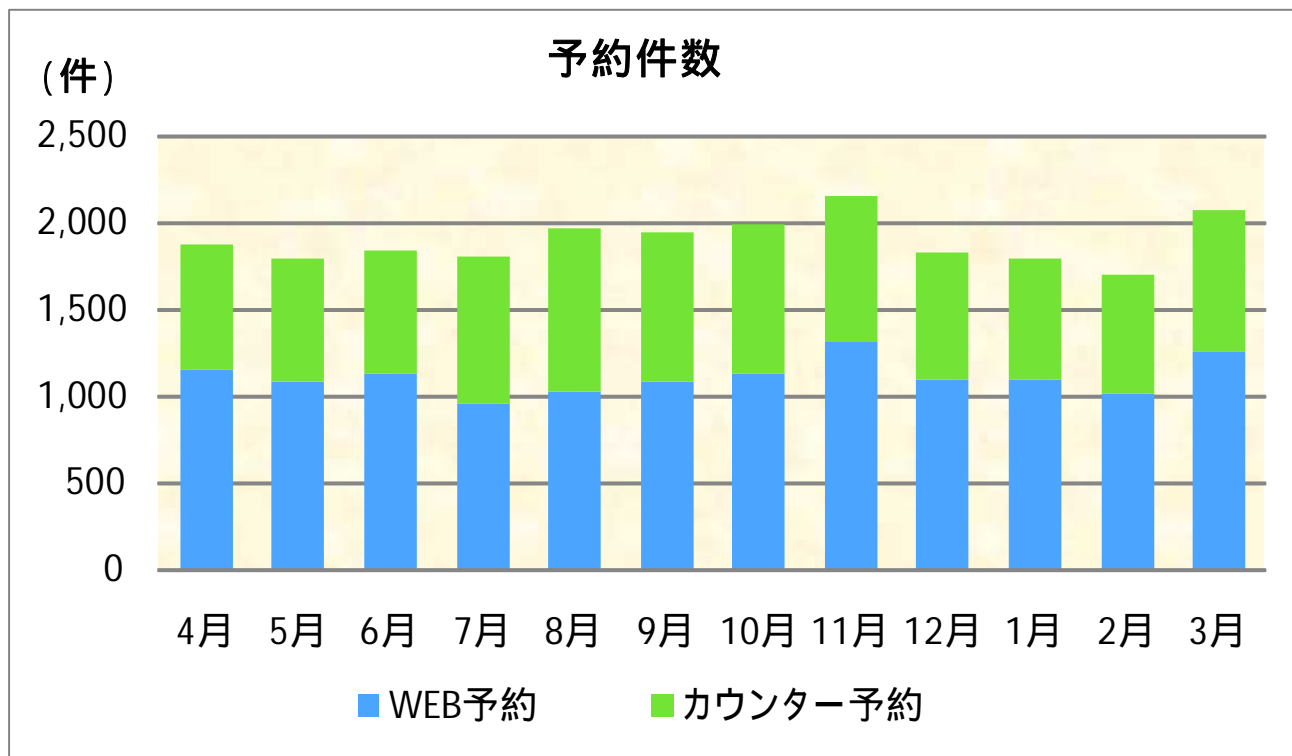
## 貸出冊数・来館者数・貸出人数推移





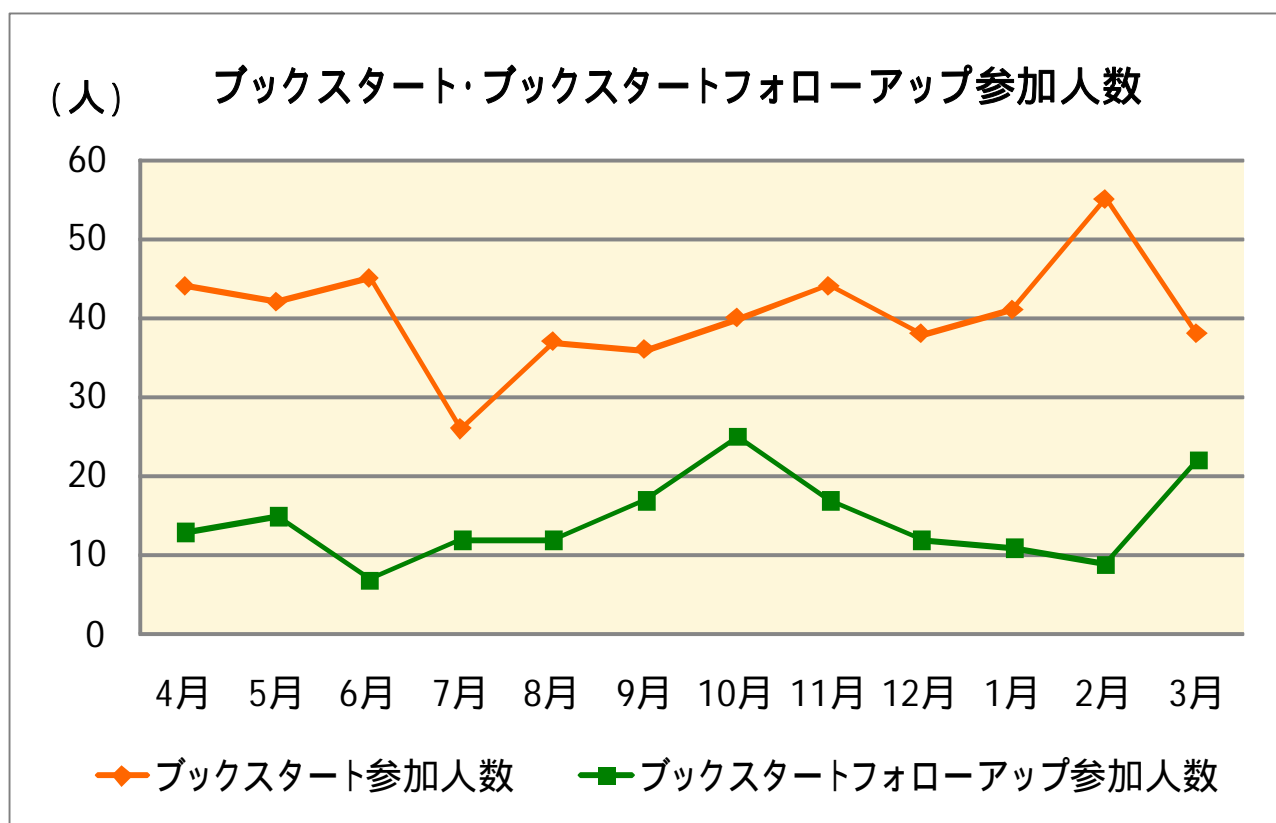
## 利用状況

	予約受付件数	うち WEB 予約	リクエスト件数	レファレンス件数
4 月	1,878	1,164	133	442
5 月	1,800	1,094	152	491
6 月	1,854	1,136	142	498
7 月	1,814	961	210	536
8 月	1,982	1,030	87	552
9 月	1,951	1,096	70	387
10 月	1,999	1,136	121	353
11 月	2,160	1,329	77	346
12 月	1,841	1,104	196	339
1 月	1,802	1,110	176	353
2 月	1,705	1,021	175	305
3 月	2,081	1,263	176	358
合 計	22,867	13,444	1,715	4,960
19 年度	21,900	12,451	905	4,966
20/19 比率	104.4%	108.0%	189.5%	99.9%



## 利用状況

	相互貸借 貸出冊数	相互貸借 借受冊数	複写サービス 枚数	ブックスタート 人数	督促件数
4月	56	211	1,491	44	573
5月	47	255	1,586	42	594
6月	48	228	1,441	45	613
7月	47	242	1,215	26	574
8月	69	298	1,635	37	743
9月	51	273	622	36	616
10月	61	207	868	40	616
11月	60	411	566	44	607
12月	47	254	496	38	605
1月	35	195	490	41	598
2月	33	147	630	55	381
3月	53	203	812	38	543
合計	607	2,924	11,852	486	7,063
19年度	507	2,770	17,458	492	6,621
20/19比率	119.7%	105.6%	67.9%	98.8%	106.7%



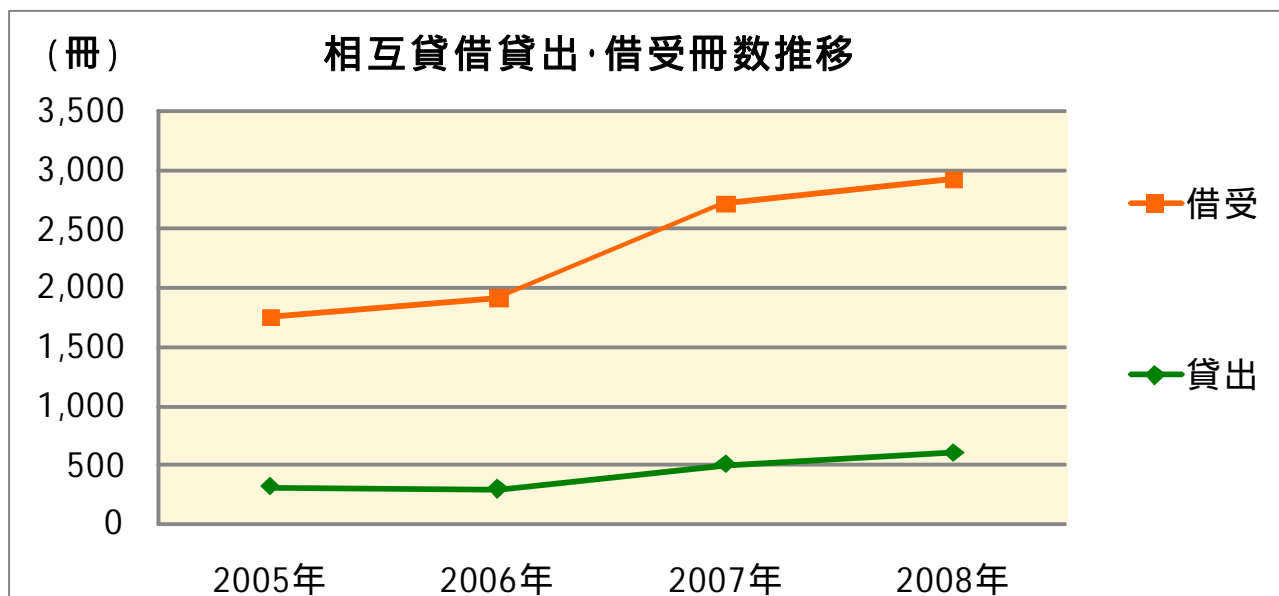
ブックスタートフォローアップの統計は23ページに記載。

### 時間毎来館者数(単位:人)

	-10:00	-17:15	-18:00	-19:00	-20:00 (B)	17:15- 20:00(A)	夜間来館者数 割合(A/B)
4月	1,579	15,218	16,118	16,926	17,655	2,437	13.8%
5月	1,569	16,788	17,888	18,777	19,499	2,711	13.9%
6月	1,646	15,477	16,691	17,678	18,453	2,976	16.1%
7月	1,763	20,321	21,631	22,866	23,850	3,529	14.8%
8月	1,867	21,522	22,859	24,214	25,146	3,624	14.4%
9月	2,157	18,214	19,369	20,363	21,088	2,874	13.6%
10月	1,636	16,760	17,933	18,849	19,710	2,950	15.0%
11月	1,603	16,809	17,833	18,681	19,509	2,700	13.8%
12月	1,503	14,513	15,388	16,194	16,965	2,452	14.5%
1月	1,280	15,038	16,041	16,842	17,556	2,518	14.3%
2月	1,272	13,330	14,168	14,891	15,570	2,240	14.4%
3月	1,676	16,580	17,676	18,555	19,316	2,736	14.2%
合計	19,551	200,570	213,595	224,836	234,317	33,747	14.4%
19年度	-	190,271	-	-	218,382	28,129	12.9%
20/19比率	-	105.4%	-	-	107.3%	120.0%	-

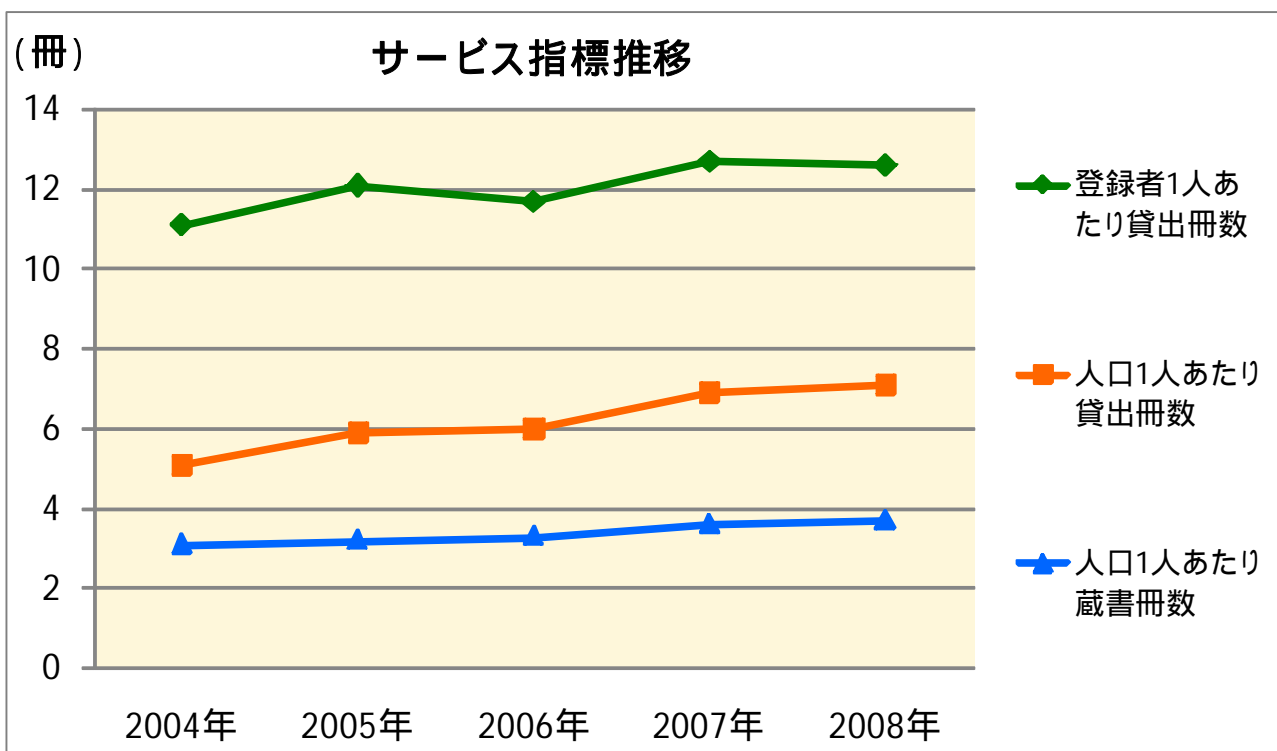
### 推移

	2005年	2006年	2007年	2008年
開館日数(日)	339	343	345	345
予約受付件数(件)	15,530	16,919	21,900	22,867
うち Web 予約(件)	7,175	8,215	12,451	13,444
相互貸借貸出(冊)	315	292	507	607
相互貸借借受(冊)	1,761	1,923	2,770	2,924



## サービス指標推移

	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
人口(人)	57,778	57,846	58,167	58,180	57,955
蔵書冊数(冊)	178,439	186,437	192,070	208,535	213,094
登録者数(人)	26,849	28,335	29,708	31,509	32,633
貸出冊数(冊)	297,463	341,887	347,625	400,091	412,469
資料費(円)	14,380,000	11,430,000	10,956,000	11,500,000	11,500,000
登録率(%) (登録者数÷人口)	46.5	49.0	51.1	54.2	56.3
蔵書回転率(冊) (貸出冊数÷蔵書冊数)	1.7	1.8	1.8	1.9	1.9
人口1人あたり 資料費(円) (資料費÷人口)	248.9	197.6	188.4	197.7	198.4
登録者1人あたり 貸出冊数(冊) (貸出冊数÷登録者数)	11.1	12.1	11.7	12.7	12.6
人口1人あたり 貸出冊数(冊) (貸出冊数÷人口)	5.1	5.9	6.0	6.9	7.1
人口1人あたり 蔵書冊数(冊) (蔵書冊数÷人口)	3.1	3.2	3.3	3.6	3.7



# 資料展示

## 一般資料展示

	月別テーマ展示	個別展示
4月	闘病記 図書館 生活習慣病(メタボ)	佐伯泰英(寄贈本)、大江健三郎賞受賞
5月	資源 五月病対策	日本推理作家協会受賞者、 肩の抜ける時代小説、松本清張
6月	新撰組 育児書 ハワイ特集	エッセイスト・クラブ賞、氷室冴子、阿倍和重、 ターシャ・テューダー、恩田陸
7月	ミステリー & ホラー 外国人作家	二億年後の世界を予測、新田次郎文学賞、 光も影も今の中国、大野晋、徳永直
8月	戦争問題 北京オリンピック	赤塚不二夫、アーサー・C・クラーク
9月	源氏物語 ECO	手塚治虫、片山杜秀、指定管理者制度、 木下弘子作品集、井田敬之助作品集
10月	星・星座 鉄道特集 スタッフおすすめ本	ノーベル物理学賞、ノーベル文学賞、 井上ふみ、文化勲章受章者
11月	イラスト・写真の描き方・撮り方 スタッフおすすめの本 アメリカ合衆国	筑紫哲也、マイケル・クライトン、手塚治虫
12月	時間 人権週間 ノンフィクション	流行語大賞「アラフォー」、もうすぐクリスマス、 俵萌子、天野哲夫死去、加藤周一死去
1月	白と黒 仕事について考える	裁判・事件の本、早乙女貢死去、コミュニケーション、 新型インフルエンザ、芥川賞・直木賞受賞者、 ジョン・アップダイク死去、上野修三
2月	生涯教育入門 食べ物大好き！	松本清張・太宰治 生誕 100 年、泡坂妻夫死去、 メートル法誕生の裏側、中原中也賞受賞、 村上春樹イスラエル賞受賞
3月	チェンジ！！ 桜	大阪にまつわる作品・作家特集、 乙女の本、ちょっと前の人気本

## 児童資料展示

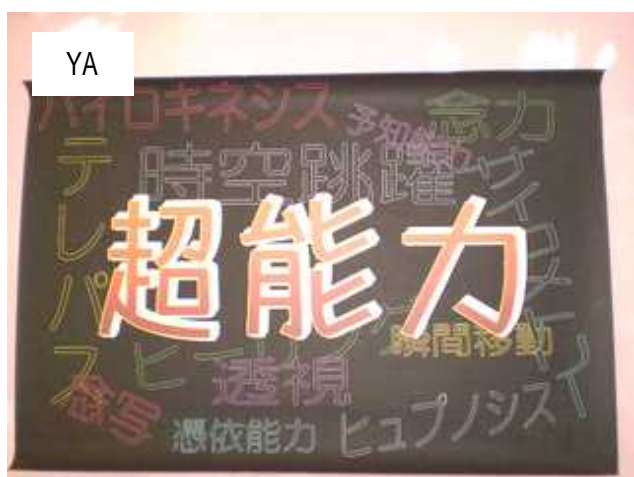
	月別テーマ展示	個別展示
4月	パン モンゴメリー特集	石井桃子
5月	五味太郎 ファール昆虫記・シートン動物記	中山知子
6月	ことば 伝記	ターシャ・テューダー
7月	星・宇宙 自由研究・工作	おばけ、海、かこさとし、 スタッフおすすめ課題図書
8月	長新太 戦争	昆虫
9月	スポーツ おじいちゃんおばあちゃん	おつきみ、第24回選定よい絵本
10月	やさしい 環境	ハロウィン
11月	仕事 伝統芸能とあそび	読書週間「一度は読んでおきたい文学」、 クリスマス
12月	松谷みよ子 グリムとアンデルセン	クリスマスと冬の本、追悼：キヨノサチコ、 「ビルマの豎琴」のモデル中村一雄氏死去
1月	むかしの日本 干支、牛	節分・鬼
2月	からだ とり(鳥)	ひな祭り・桃・人形
3月	いもとようこ 世界の昔話	春の本、ムーミン展

## YA 資料展示

	月別テーマ展示	個別展示
4月	映画化原作本特集	
5月	GW明けの学校を楽しむための本	
6月	梅雨の時期こんな過ごし方はどうですか？	ちくま日本文学
7月	クラブ活動特集	岩波ジュニア新書
8月	人には理解できない不思議なモノたち	ちくまプリマー新書
9月	マンガを描いてみたい人へ	はじめての文学、ミステリーYA
10月	魔法使い	よりみちパン！セ、14歳の世渡り術
11月	恋をしたいあなたへ	ミステリーランド
12月	クリスマス	
1月	宇宙・空・SF 特集	ケータイ小説
2月	超能力	
3月	動物大集合	

## 参考資料展示

	月別テーマ展示	個別展示
6月	大阪狭山のほたる	
7月	狭山池博物館と狭山池	
8月	わたしたちの大阪狭山市	
9月	9類:文学	
10月	8類:言語	
11月	7類:芸術	
12月	6類:産業	マスコットキャラクター「さやりん」誕生 狭山のサクラと竜神伝説
1月	おめでたい本	【パブリックコメント】 大阪狭山市高齢者保健福祉計画及び第4期介護 保険事業計画(素案)
2月	参考室の機関誌	【パブリックコメント】 ・第2期大阪狭山市障がい者福祉計画(案) ・新健康大阪さやま21計画(案)
3月		



## レファレンス事例

受け付けたもののうち、調査に時間を要したものを示す。

質問	回答
<p>第 10 次(または 11 次)南極観測隊にいたトリイ隊長の略歴が知りたい。</p>	<p>南極関係の本には記述なし。 インターネットで「南極 観測 名簿」で検索すると「南極倶楽部」というサイトがヒット。そこに「観測隊次別・観測隊員名簿」が掲載されていた。名簿の JARE (日本南極地域観測隊) 4、JARE8 の項目に「鳥居鉄也」という名前があった。「現代日本人名録 2002」「産経人物年鑑」に本人の情報があつた。</p>
<p>絵本「大阪なにわ伝統野菜のお・は・な・し」(内外出版)に出てくる子守唄の楽譜が見たい。 歌詞:「大坂天満の青もん市場 大根そろえて船に積む」。</p>	<p>大阪府関連の本、わらべ歌の本を調べる。「日本わらべ歌全集 16 大阪のわらべ歌」(柳原書店)に難波の「天満の市」星田の「天満の市」が載っていたが、冒頭の歌詞が違った。 インターネットでは「大阪の子守歌」や「天満の市」などたくさんの替え歌が出てきたが、該当のものはなかった。 出版社に問い合わせると、著者の方より回答をくださった。ご本人によれば、題名は忘れたが大坂の食文化について書かれた本に歌詞が載っていた。楽譜はないが、子守唄「ねんねんころりよ」と同じメロディとのこと。</p>
<p>産経新聞に載っていた両手両足の無い女性についての記事を見たい。 紙芝居で紹介されていた。 1 週間くらい前に見たと思う。</p>	<p>Google で「産経 紙芝居 四肢」で検索。MSN のサイトにそれらしい記事が見つかった。「更新時間:2008.11.9」とあつたので、同日の産経新聞を開くと、24 面の「おおさか河内」のページに記事が見つかった。女性の名は中村久子さん。本人の著作を所蔵していることを伝えると、本を借りて帰られた。</p>
<p>NHK ラジオ第一の「ラジオ深夜便」1 月 14 日～15 日放送分で紹介された阿久悠さんの作品を読みたい。</p>	<p>インターネットで「ラジオ深夜便」の番組表を調べた。「のど自慢旅日記」のコーナーに「淡路島出身・阿久悠さんの作品から」とあつたが、作品名の掲載はなし。ラジオ局の視聴者コールセンターに問い合わせ、「転がる石」(文藝春秋)であることがわかつた。</p>
<p>「泉州音楽講」について知りたい。住吉大社の石燈籠に刻まれていた。</p>	<p>住吉大社に電話で問い合わせ、以下の回答を得た。 「石燈籠の建立年は不明だが、再建は明治 26 年。一昨年に和泉市春木町から寄贈された寄進台帳によれば、堺東港の住吉講が寄進を募って作られたものとされている。建立者は北村駒三郎。住吉伶人の家系で、本人はその末裔の息子。この人が泉州音楽講の代表を勤めていたらしい。泉州音楽講についてそれ以降の記録は無し。雅楽については四天王寺国際仏教大学の南谷美保教授が専門なので、尋ねてみるといいかもしれない」 蔵書検索で南谷教授の著作を調べると「天王寺楽所史料」という本を所蔵していた。目次に「住吉舞楽二付往来之留」の項目があつた。また、四天王寺国際仏教大学 WEB サイト内に教授の論文も上げられており、論文内の注釈に「天保十五年奉納の石燈籠に泉州音楽講として北村佐平の名が刻され...」との記述があつた。本と WEB サイトの情報を提供し、回答とした。</p>



## ボランティア活動内容

### さやまおはなしの会

昭和 58 年 4 月に、こどもの本と関わる人たちが集まり「こどもの本の会」としてスタート。

昭和 63 年 4 月に多くの人たちにおはなしを届けようと「さやまおはなしの会」に改名(『さやまおはなしの会 20 年のあゆみ』より)。メンバーは 24 人。図書館・保育園・小学校におはなしを届ける。市のイベントにも積極的に参加し、活動の場を広げている。

### おはなし会(定期)

図書館	毎週日曜日
図書館・季節のおはなし会	年 4 回
きらり保育園	第 3 金曜日
こども園	第 2 水曜日

### おはなし会(単発)

子育て支援センター(ぼっぼえん)おはなし会	5/9
-----------------------	-----

### 学校おはなし会

西小学校	10/8	1 6 年生	6 クラス
南第一小学校	11/6	1 6 年生	6 クラス
北小学校	11/17	1 6 年生	6 クラス
南第三小学校	1/27	1 6 年生	6 クラス

### その他

さやま池まつり	4/27
平和展	7/27
はばたきフェスタ	9/14
ぼっぼえんまつり	10/25
フェスタにんげんばんざい	12/7
新春子どもまつり	1/11

## ふきのとう

平成6年4月1日に7人で発足。図書館・幼稚園・小学校へおはなしを届けるボランティア活動をしている。また、ブックスタート事業の手伝いやストーリーテリング入門講座の講師、小学生向けにブックトークなども行っている。現在は13人のメンバーで勉強会を定期的に行い、交流を深めている。

### おはなし会(定期)

図書館	南第二幼稚園	東野幼稚園	西幼稚園	東幼稚園	子ども園	半田幼稚園
毎週木曜日	第2金曜日	第3水曜日	第4火曜日	第4水曜日	第4月曜日	第3金曜日

### おはなし会(単発)

西幼稚園(子育て支援)	7/8
南第二幼稚園(未終園児)	6/10 9/9 10/14 2/10
東野幼稚園(ニコニコクラブ)	6/18 7/16 9/17 10/15 11/19 12/17 1/21 2/18
半田幼稚園(未終園児)	5/23 10/24

### 学校おはなし会

第7小学校	6/11	13年生	各3クラス	東小学校	12/10	12年生	各4クラス
北小学校	6/30	12年生	各3クラス	第七小学校	1/14	46年生	各3クラス
南第二小学校	9/26	13年生	各3クラス	南第二小学校	1/23	12年生	各3クラス
南第二小学校 (ブックトーク)	9/29	4年生	3クラス	南第三小学校	1/27	16年生	4クラス
西小学校	10/8	16年生	12クラス	東小学校	1/28	12年生	各4クラス
南第一小学校	11/6	16年生	5クラス	第七小学校 (ブックトーク)	2/16	5年生	3クラス
南第二小学校	11/8	12年生	6クラス	東小学校	2/27	12年生	各4クラス
第七小学校	11/12	13年生	各3クラス	南第二小学校	3/11	12年生	各3クラス
北小学校	11/17	16年生	9クラス				

### その他

ブックスタート事業	第1木曜日
はばたきフェスタ「とびだす絵本展」お手伝い	9/13
西小学校三都まつり(絵本の展示と読み聞かせ講習)	11/15
長谷川義史氏講演会(参加&手伝い)	2/11
食育カーニバル(紙芝居実演)	3/15
図書館児童室・書架整理ボランティア	月3-4回

## 指定事業

### 図書館主催おはなし会

開催時間: 第1・3土曜日(13:00-13:30)、第2・4水曜日(15:00-15:30)

	実施回数	参加人数		実施回数	参加人数		実施回数	参加人数	
4月	4	14	8月	4	26	12月	4	17	
5月	4	37	9月	4	13	1月	4	22	
6月	4	22	10月	4	30	2月	3	16	
7月	4	21	11月	4	20	3月	4	34	
							計	47回	272人



### ストーリーテリング入門講座

実施日	5月30日、6月13日、6月20日、6月27日、7月4日 計5回
実施時間	10時 - 11時30分
実施場所	大阪狭山市立公民館 多目的室、児童室(保育)
実施目的	おはなしの世界の楽しさを子どもたちに届けるストーリーテラーを養成する。
実施内容	第1回「いい絵本を選ぶ」 第2回「絵本を読むこと」 第3回「ストーリーテリングとはどんなもの」 第4回「おはなしの選び方と語り方」 第5回「実際にやってみましょう」
参加人数	第1回:10人 第2回:9人 第3回:7人 第4回:8人 第5回:6人 のべ40人
講師	ふきのとう 4名

## ブックスタート事業

市立保健センターでの 4 か月健診時に実施。おはなし会ボランティアふきのとうの協力を得ながら、親子に事業の趣旨を説明し、絵本とパンフレット類をプレゼントする。

	参加人数		参加人数		参加人数		参加人数	
4月	44	7月	26	10月	40	1月	41	
5月	42	8月	37	11月	44	2月	55	
6月	45	9月	36	12月	38	3月	38	
							計	486人
							19年度	492人
							20/19比率	98.8%

## ブックスタートフォローアップ事業(平成 19 年 11 月～)

10 か月の乳児を対象に実施。

絵本の読み聞かせを行い、4 種類の絵本の中から希望のものを 1 冊プレゼントする。

実施時間: 平日 10:00-12:00(事前予約を受けて実施)

	参加人数		参加人数		参加人数		参加人数	
4月	13	7月	12	10月	25	1月	11	
5月	15	8月	12	11月	17	2月	9	
6月	7	9月	17	12月	12	3月	22	
							計	172人

## 図書宅配サービス

図書利用カードを交付している人に対して、図書の宅配サービスを実施。宅配料は利用者負担。

身体障がい者については送料を減額または免除。

	身体障がい者	健常者
実施回数	2回	0回



## 新規提案事業

### 製本講習会

実施日	10月4日、11月1日、12月13日 計3回
実施時間	13時 - 17時
実施場所	大阪狭山市立公民館 講習室、工作室
実施目的	製本のしくみについて学び本に親しむ。
実施内容	第1回「文集の製本」:布製のハードカバーの本の作成 第2回「和本の製本」:和紙を使った本の作成 第3回「本の修理」:ページ割れやページはずれの修理方法
参加人数	第1回:5人 第2回:9人 第3回:7人 計21人
講師	キハラ株式会社 高尾氏、金田氏

### 図書館を使った調べ方講座

実施日	2月14日、2月21日、3月7日、3月28日 計4回
実施時間	13時～15時
実施場所	大阪狭山市立図書館 おはなしの部屋
実施目的	生涯学習の支援機関としての図書館をアピールする。
実施内容	第1回「図書館のしくみと使い方」 ・講師の高田氏による講演。図書館の意義・役割を解説。 ・一般閲覧室と参考資料室の書架案内。 第2回「テーマを決める」 ・データベース「JapanKnowledge」「聞蔵 ビジュアル」の紹介。 ・書庫案内。 第3回「資料を探す・調べる」 ・テーマ決定。テーマにそった資料探し。 第4回「まとめ・講評」 ・参加者が作成したレポートについて高田氏が講評。 ・レポートにそった図書館所蔵の資料と府立図書館所蔵の資料を紹介。
参加人数	第1回:3人 第2回:5人 第3回:3人 第4回:3人 のべ11人
講師	元堺市立中央図書館館長 高田尚文氏 株式会社ネットアドバンス 上島浩之氏(第2回「JapanKnowledge」紹介)

## 長谷川義史さん講演会

～ ナニワの絵本作家長谷川義史さんが大阪狭山にやって来ませ！～

実施日	2月11日(水・祝日)
実施時間	13:30-16:00(開場 13:00)
実施場所	大阪狭山市公民館 3階大集会室
実施目的	講演会を通じて図書館や本と親しむ機会を設ける。
内 容	<p>長谷川義史氏によるライブ紙芝居・絵本読み聞かせ・ウクレレ演奏等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせ <ul style="list-style-type: none"> <li>『しってるねん』アリス社</li> <li>『おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん』ビーエル出版</li> <li>『おへそのあな』ビーエル出版</li> <li>『てんごくのおとうちゃん』講談社</li> <li>『いいからいいから3』絵本館</li> <li>『いっきょくいきまあす』PHP 研究所</li> </ul> </li> <li>・ウクレレ弾き語り『おたんじょうびのひ』朔北社</li> <li>・サイン会</li> </ul>
参加人数	およそ 190 名



製本講習会



調べ方講座



## 自主事業

### 有料オンラインデータベースサービス

「JapanKnowledge」と「聞蔵 ビジュアル」を導入。

### 夏の工作教室

実施日	8月19日、8月26日
実施時間	10:00-12:00
実施場所	図書館おはなしの部屋
参加対象	市内小学校1～3年生
実施目的	夏の自由研究と図書館の利用促進
内 容	8月19日:飛び出すカード 8月26日:リサイクル貯金箱
参加人数	19日:10人 26日:9人



### フォト・イラストコンテスト

実施期間	募集期間:10月1日-12月28日 表彰期間:1月10日-2月10日		
実施場所	図書館内		
実施目的	コンテストを通じて図書館に親しんでもらう		
実施内容	「本」をテーマにした写真・イラスト作品を募集。部門は一般、YA、キッズの3部門。審査方法は来館者による投票と、スタッフによる選考。入賞者には賞品として表彰状と図書カードを贈呈。		
参加対象	大阪狭山市立図書館の登録利用者		
応募点数	14点	入賞数	9点



### 春の工作教室

実施日	3月27日
実施時間	1回目:9:30-10:20 2回目:10:30-11:20
実施場所	図書館おはなしの部屋
実施目的	図書館の利用促進
実施内容	ラミネートで押し花のしおり作り
参加対象	市内小学校児童
参加者	1回目:3人 2回目:14人



## その他行事

### 図書館見学

見学日	学校名	学年	人数
4月18日(金)	第七小学校	3年	90人
5月2日(金)	南第二小学校	3年	95人
5月27日(火)	東小学校	3年	122人
7月8日(火)	南第一小学校	3年	40人
9月9日(火)	西小学校	3年	113人
9月25日(木)	北小学校	3年	75人

### 職場体験受入

日付	学校	男	女	計	備考
10月29日-30日	第三中学校2年生	2	1	3	
1月28日-29日	南中学校2年生	4	0	4	インフルエンザによる学級閉鎖のため中止

### 小学校おはなし会(スタッフ参加)

日付	小学校名	日付	小学校名
6月11日(水)	第七小学校	12月10日(水)	東小学校
6月30日(月)	南第二小学校	1月14日(水)	第七小学校
9月26日(金)	南第二小学校	1月23日(金)	南第二小学校
10月8日(水)	西小学校	1月27日(火)	南第三小学校
11月6日(木)	南第一小学校	1月28日(水)	東小学校
11月8日(土)	南第二小学校	2月27日(金)	東小学校
11月12日(木)	第七小学校	3月11日(水)	南第二小学校
11月17日(月)	北小学校	3月16日(月)	南第二小学校

### 第三中学校おはなし会

日付	場所	参加者	時間	ブックトークテーマ
11月19日(月)	くすのき学級	くすのき学級	5時間目	
	図書室	希望者(100名弱)	昼休み	恋愛
12月12日(金)	くすのき学級	くすのき学級	2時間目	
2月6日(金)	くすのき学級	くすのき学級	2時間目	
	図書室	希望者(21名)	昼休み	チョコレート



## 研修実績

研修名称	主催	日付	研修場所	参加人数
国立国会図書館の電子情報を活用しよう	大阪府立中之島図書館	5/8	大阪府立中之島図書館	1名
トーハン児童書展示会	トーハン	5/21	トーハン大阪支店	2名
トーハン児童書展示会	トーハン	5/23	トーハン大阪支店	2名
大阪公共図書館協会総会	大阪公共図書館協会	5/23	大阪府立中央図書館	1名
トーハン児童書展示会	トーハン	5/29	トーハン大阪支店	2名
TRC 集合研修(レベルアップ講座) 「TRC MARC の特長と業務への活かし方」 「レファレンス基本の”キ”」	TRC	6/9	北浜ビジネス会館	2名
JapanKnowledge フレンドシップセミナー2008	(株)ネットアドバンス	6/16	(株)小学館パブリッシング・ サービス関西支社会議室	1名
大阪公共図書館協会研修会「目指せ！プロ フェッショナル」その1 第1回 検索から連想へ 情報を発想力に換える情報術	大阪公共図書館協会	6/25	大阪府立中央図書館	1名
大阪公共図書館協会研修会 「目指せ！プロフェッショナル」その1 第2回 インターネット上の国立国会図書館 - 近代デジタルライブラリーを中心に	大阪公共図書館協会	7/2	大阪府立中央図書館	1名
暮らしの中の息づく公立図書館	羽曳野市立図書館、羽曳 野市子ども文庫連絡会	7/6	羽曳野市役所別館 3階会議室	1名
大子連 児童文化講座 匂い泥棒をつかまえる！	大阪府子ども文庫連絡会	7/8	大阪府立中央図書館	1名
大阪公共図書館協会研修会「目指せ！プロ フェッショナル」 その2 第1回 展覧会のつくりかた	大阪公共図書館協会	7/9	大阪府立中央図書館	1名
先進図書館ソリューションセミナー	NEC ネクサソリューションズ	7/10	NEC ネクサソリューションズ Walk In Solution Center	1名

研修名称	主催	日付	研修場所	参加人数
大阪公共図書館協会研修会「目指せ！プロフェッショナル」 その2第2回 美術館学芸員の仕事 - 展覧会準備などの体験談を中心に	大阪公共図書館協会	7/16	大阪府立中央図書館	1名
ニッサン童話と絵本のグランプリ25周年記念創作オープンセミナー	日産自動車(株) 国際児童文学館	8/2	国際児童文学館	2名
乳幼児にわらべうたを - 読書へつながることばの体験 -	児童図書館研究会・近畿支部学習会	8/4	大阪市立総合生涯学習センター	1名
ダンボールで面展台製作教室	大阪府立図書館	8/6	大阪府立図書館	2名
普通救命講習	大阪狭山市	8/21	大阪狭山市消防本部 4階	3名
紙芝居 ~ 子どもと楽しむために ~	熊取町立図書館	8/23	熊取町立図書館 2階ホール	1名
普通救命講習	大阪狭山市	8/26	大阪狭山市消防本部 4階	3名
大子連 児童文化講座 公開講座 学校図書館への期待	大阪府子ども文庫連絡会	9/9	大阪府立中央図書館	1名
ヤングアダルト(YA)文学講座	JPIC(財団法人出版文化産業振興財団)	9/28	神戸市三宮研修センター	1名
平成20年度大阪府図書館司書セミナー 神奈川県立図書館における法律情報サービスについて	大阪府立図書館	10/2	大阪府立図書館	1名
TRC 集合研修(レベルアップ講座) 「図書館の行事~テーマを見つけ、計画を立てる」 「図書館の展示は”レファレンス”である」	TRC	10/3	大阪府立女性総合センター	2名
子どもの読書サポーター講習会 講師:藤田浩子	JPIC(財団法人出版文化産業振興財団)	10/5	梅田スカイビル	1名
国立国会図書館レファレンス協同データベース事業担当者研修会	国立国会図書館	10/9	国立国会図書館関西館	1名
大阪公共図書館協会研修会「目指せ！プロフェッショナル」 その3 図書館かくあいまほし	大阪公共図書館協会	10/15	大阪府立中央図書館	1名

研修名称	主催	日付	研修場所	参加人数
公開講演会「課題解決型図書館の潮流と国立国会図書館」	国立国会図書館	10/16	国立国会図書館関西館	1名
平成20年度大阪府図書館司書セミナー 市町村子ども読書活動推進計画の策定について&こどもとえほん	大阪府立図書館	10/17	大阪府立図書館	2名
乳幼児サービスフォローアップ研修 第2期 乳幼児おはなし会の持ち方について ほか	大阪府立図書館	10/17	大阪府立図書館こども室	1名
平成20年度大阪府図書館司書セミナー パスファインダー超簡単講座 ー新しい案内ツールをどう作るかー	大阪府立図書館	10/24	大阪府立図書館	1名
TRC 人権研修	TRC	10/30	大阪市立中央図書館	2名
第12回資料保存研修	国立国会図書館	10/31	国立国会図書館関西館	1名
平成20年度大阪府図書館司書セミナー 「手とおはなしの会」についてー手話を用いたろう児向け図書館サービスのあり方	大阪府立図書館	10/31	大阪府立図書館	1名
図書館を100倍楽しむ方法を教えます！	池田市立図書館	11/2	池田市立図書館	2名
平成20年度大阪府図書館司書セミナー 図書館運営の評価と指標	大阪府立図書館	11/5	大阪府立図書館	1名
平成20年度「国際子ども図書館児童文学連続講座ー国際子ども図書館所蔵資料を使って」	国際子ども図書館	11/10	国際子ども図書館	1名
平成20年度「国際子ども図書館児童文学連続講座ー国際子ども図書館所蔵資料を使って」	国際子ども図書館	11/11	国際子ども図書館	1名
IC説明会&導入館見学会	(株)内田洋行	11/12	奈良市北部会館	1名
図書館ブックフェア大阪2008	TRC	11/12	トーハン大阪支店	1名
図書館職員スキルアップ研修(第3回) 図書館のホームページから情報発信をしよう！	大阪府立中之島図書館	11/13	大阪府立中之島図書館	2名
図書館ブックフェア大阪2008	TRC	11/13	トーハン大阪支店	3名
TRC 集合研修(レベルアップ講座) 「これからのTRCスタッフの人材像について」 「今日に求められる図書館員像」ほか	TRC	11/14	大阪市立いきいきエイジングセンター	2名

研修名称	主催	日付	研修場所	参加人数
携帯型デジター・プレイヤー体験説明会	大阪府立中央図書館	11/14	大阪府立中央図書館	2名
平成20年度大阪府図書館司書セミナー こんな図書館員が求められている サービスの基本は何か	大阪府立図書館	11/20	大阪府立図書館	1名
乳幼児サービスフォローアップ研修 第2期 手遊び、わらべうたの選定について ほか	大阪府立図書館	11/21	大阪府立図書館こども室	1名
乳幼児サービスフォローアップ研修 第2期 おはなし会参加、質疑応答、反省会	大阪府立図書館	12/5	大阪府立図書館こども室	1名
大子連 児童文化講座 日本の森と子どもたち	大阪府子ども文庫連絡会	12/9	大阪市立中央図書館	1名
平成20年度大阪公共図書館協会参考業務実務研修 A-1 参考業務基本研修	大阪公共図書館協会	12/11	大阪府立中央図書館	1名
大子連 児童文化講座 子どもの本は人生の宝物	大阪府子ども文庫連絡会	1/13	大阪市立中央図書館	1名
全国公共図書館サービス部門研究集会・近畿公共図書館協議会研究集会 第1日目	日本図書館協会公共図書館部会ほか	1/15	奈良県立図書情報館	1名
ブックトーク入門講座	大阪子ども読書活動支援事業実行委員会	1/16	大阪府立中央図書館	1名
平成20年度大阪公共図書館協会参考業務実務研修 A 基本・郷土資料	大阪公共図書館協会	1/21	大阪府立中之島図書館	1名
ブックトーク入門講座	大阪子ども読書活動支援事業実行委員会	1/23	大阪府立中央図書館	1名
平成20年度大阪公共図書館協会参考業務実務研修 B 専門別参考業務実務研修(こども資料室)	大阪公共図書館協会	1/29	大阪府立中央図書館	1名
第56回大阪公共図書館大会	大阪公共図書館協会	1/30	大阪市立中央図書館	2名
平成20年度図書館地区別研修(近畿地区) 第1日目	文部科学省・京都府教育委員会	2/3	ルビノ京都堀川	1名
第5回 TRC 行政経営研究フォーラム(大阪) 失敗に学ぶ行政改革、失敗しない図書館改革	TRC	2/4	大阪府立女性総合センター	2名

研修名称	主催	日付	研修場所	参加人数
平成 20 年度大阪公共図書館協会参考業務実務研修 B 専門別参考業務実務研修(こども資料室)	大阪公共図書館協会	2/5	大阪府立中央図書館	1 名
平成 20 年度図書館地区別研修(近畿地区) 第 4 日目	文部科学省・京都府教育委員会	2/6	ルビノ京都堀川	1 名
ブックトーク入門講座	大阪子ども読書活動支援事業実行委員会	2/6	大阪府立中央図書館	1 名
平成 20 年度大阪公共図書館協会参考業務実務研修 B 専門別参考業務実務研修(こども資料室)	大阪公共図書館協会	2/13	大阪府立中央図書館	1 名
第 5 回レファレンス協同データベース事業フォーラム レファレンス協同データベースの戦略的活用 変わりゆく図書館経営の中で	国立国会図書館関西館	2/20	国立国会図書館関西館	1 名
POP の描き方とディスプレイ基本講座	大阪府立中央図書館	2/25	大阪府立中央図書館	1 名
大子連 児童文化講座 私の好きなスウェーデンの子どもの本	大阪府子ども文庫連絡会	3/10	大阪市立中央図書館	1 名
初任責任者研修プログラム	TRC	3/11	エルおおさか 5 階 研修室 1	1 名
図書館職員スキルアップ研修会(第 4 回)パスファインダー作成	大阪府立中之島図書館	3/12	大阪府立中之島図書館	1 名
図書館利用教育実践セミナー第 13 回 in 京都	日本図書館協会図書館利用教育委員会	3/14	キャンパスプラザ京都	2 名
平成 20 年度児童奉仕実務研修特別講座「おはなしであそぶ」藤田浩子	大阪公共図書館協会	3/19	大阪府立中央図書館	1 名

# ブログ事例発表

11月13日、大阪府立中之島図書館主催の「図書館職員スキルアップ研修会(第3回)」に参加し、ブログ事例を発表。発表内容は以下のとおり。

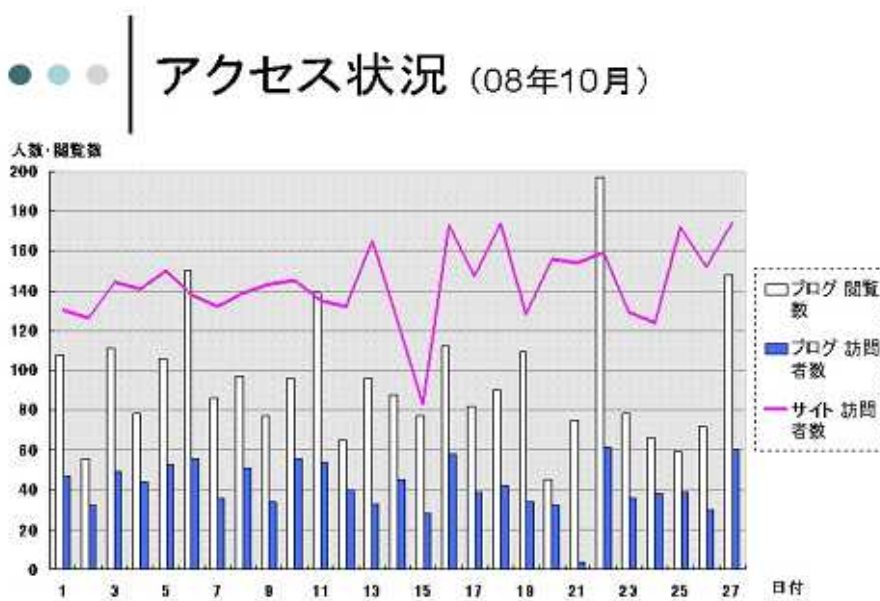
発表内容	スライド		
<p>内容紹介。現在のところ全部で12のカテゴリを作っている。決まった更新は図書館主催おはなし会、資料展示、ブックスタートなど。</p> <p>おはなし会では、そのときの様子を写した写真と、プログラム、次回予定を紹介している。</p> <p>後はイベント報告やお知らせなど、イレギュラーなものを随時更新。「ちょっとひといき」では、時節に関することなど雑談的な記事を載せ、話題に合った本紹介をしている。</p>	<p>●●● ブログの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ おはなし会(月4回)</li> <li>○ 資料展示(月1回)</li> <li>○ ブックスタート(月1回)</li> <li>○ 図書館事業(製本講習会、ST)</li> <li>○ お知らせ(図書館業務、話題)</li> <li>○ 図書館見学(小学校、幼稚園) など</li> </ul>		
<p>ブログを開設したきっかけは、併設している大阪狭山市立公民館がブログをやっていたことから。</p> <p>ブログはサイト作成の知識がなくても誰でも使える。気軽に更新できて、かつ図書館のことを知らない人に対してもわかりやすくアピールできる場所である。</p> <p>ブログの選定方法は、お金が掛からない、広告が載らないなどの条件をつけて、いくつかのブログの中から最終的に「gooブログ」を選んだ。</p>	<p>●●● ブログ作成の経緯</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p><b>発端</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 併設の公民館が運営していた</li> <li>○ スタッフから提案があった</li> <li>○ 図書館をもっと身近に</li> </ul> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p><b>選定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 料金がかからない</li> <li>○ 広告が載らない</li> <li>○ 設定や構成をカスタマイズできる</li> </ul> </td> </tr> </table>	<p><b>発端</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 併設の公民館が運営していた</li> <li>○ スタッフから提案があった</li> <li>○ 図書館をもっと身近に</li> </ul>	<p><b>選定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 料金がかからない</li> <li>○ 広告が載らない</li> <li>○ 設定や構成をカスタマイズできる</li> </ul>
<p><b>発端</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 併設の公民館が運営していた</li> <li>○ スタッフから提案があった</li> <li>○ 図書館をもっと身近に</li> </ul>	<p><b>選定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 料金がかからない</li> <li>○ 広告が載らない</li> <li>○ 設定や構成をカスタマイズできる</li> </ul>		
<p>ブログ設定。開始(2008年1月)当初は更新が続かなかったが、載せる内容を決めることでようやく稼動し始めた。カテゴリづくりによって更新の滞りを防ぐことにもつながる。</p> <p>2つめが、スタイルシートの設定。ブログには雛型があり、その中から選んで気軽に作ることができるが、狭山ではスタイルシートを使ってカスタム設定を行っている。</p> <p>コメント、トラックバックはいたずら書きを防ぐために、受け付けない設定にしている。</p> <p>最後はサイトとのすみわけ。仕事が重複しないように、サイトには重要かつ公式な情報を載せて、ブログには過去のできごとの報告や雑事を載せることにしている。</p>	<p>●●● 設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ カテゴリづけ→載せる内容をきめる</li> <li>○ スタイルシートで構成やデザインを設定</li> <li>○ 広告、コメント、トラックバック</li> <li>○ サイトとのすみわけ             <ul style="list-style-type: none"> <li>サイト: 重要なお知らせ</li> <li>ブログ: 過去のできごと、明るい話題</li> </ul> </li> </ul>		
<p>利用者の反応。「いつも楽しみに見えています」「新着書案内が楽しみです」とのおことばを頂いている。</p> <p>新着書案内では、毎週受入する本の中からピックアップしたものを紹介している。ブログで紹介している本をみて予約をくださる方もいる。</p> <p>「もっと周知するべき」。10月に利用者にアンケートを行い、その中でブログについて質問した。約500の回答のうち、サイトの存在は回答者のうち7割の方が知っているのに対して、ブログについては3割の方しか知らない、という結果だった。</p>	<p>●●● 利用者の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ いつも楽しみにみている</li> <li>○ <u>新着書案内をみてWEB予約</u></li> <li>○ もっと周知するべき</li> <li>○ 知名度             <ul style="list-style-type: none"> <li>サイト: 利用者のうち7割が知っている</li> <li>ブログ: 利用者のうち3割しか知らない</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: right; font-size: small;">(図書館アンケート08年10月調査より)</p>		

ブログの更新作業のしくみについて。ブログ担当はひとり。  
おはなし会や資料展示の案内など、日常的な更新については各自スタッフが受け持っている。  
単発的な話題の更新、または設定の変更など、全般的なことに関しては、担当ないし館長が管理している。  
記事をネットに上げる際の承認方法は、(記事一覧をクリック)記事一覧という記事をためておく場所があり、まずここに草稿として記事を保存する。この草稿を館長がチェックし、問題がなければネットにアップしている。

### ● ● ● ブログ作業分担

- ブログ担当: 1人
- 更新: 業務に携わったスタッフが各自更新する
- 担当の仕事はブログ全体の管理
  - ・ カテゴリの増減
  - ・ 雑事の更新
  - ・ パスワード変更など

狭山のブログのアクセス数。  
  
グラフは先月1ヶ月分の統計を取ったもの。  
サイトは毎日130~140人前後のアクセスがある。  
ブログはそれよりも少なく、30人前後しかない。割合でいうとサイト訪問者の3割ぐらいの人しか訪れていないことになる。図書館アンケートの結果と同様。



今後の課題。まず何より知名度を上げることが先決だと考えている。ポスターや図書館だより、カウンターでお知らせして、もっとたくさんの人にブログを見て頂きたい。  
また、図書館ならではのコンテンツをどんどん上げていくことも考えている。  
普段図書館を使っている利用者でも、図書館が実際にどんな仕事をしているのかわからない人が多いだろうと思う。例えば書架整理や図書の修理から始まって、督促業務、リクエスト本の処理、弁済本の処理など、外からは見えない図書館の仕事を知らせていきたい。そうすれば、利用者との距離も縮まり、より親しまれる図書館になるのでは。  
今後もブログの可能性を模索しつつ、情報発信していきたい。

### ● ● ● 今後の課題

- 知名度を上げる  
ポスター掲示、図書館だより、サイト...
- もっと図書館を知ってもらう  
日々のできごと、業務的内容...

ブログを運営している図書館(平成20年10月現在)  
大阪府立中央図書館: 'YA! YA! YA! べんりやん図書館'  
横芝町立図書館(goo)、伊万里市民図書館(goo)、湧別町図書館(yahoo):トラックバック、コメントともに受付。  
調布市立図書館: NPO法人ちょうふどっとこむが運営。Movable Typeで作成。

## 受入新聞・雑誌一覧

### 購入新聞一覧

	紙名	保存期限
1	産経新聞	永年(1986年9月19日から所蔵)
2	朝日新聞	1年
3	読売新聞	
4	日本経済新聞	
5	毎日新聞	
6	サンケイスポーツ	

### 寄贈新聞一覧

	紙名	保存期限
1	解放新聞	1年
2	月刊 ODA 新聞	
3	民団新聞	
4	国際協力新聞	
5	こどもの国新聞	
6	金剛コミュニティ	
7	昭和	
8	日本語教育新聞	
9	Hometown	
10	M・A・P 新聞	
11	赤十字新聞	
12	高校生新聞	

### 購入雑誌一覧

	誌名	出版社名	発売周期	保存期限
1	アエラ	朝日新聞社	週刊	6か月
2	あまから手帖	クリエテ関西	月刊	1年
3	新しい住まいの設計	扶桑社	月刊	1年
4	アサヒカメラ	朝日新聞社	月刊	1年
5	アニメージュ	徳間書店	月刊	1年
6	家の光	家の光協会	月刊	1年
7	With	講談社	月刊	1年
8	ESSE	扶桑社	月刊	1年
9	大相撲	読売新聞出版局	月刊	1年
10	オール読物	文藝春秋	月刊	1年
11	音楽の友	音楽の友社	月刊	1年



	誌名	出版社名	発売周期	保存期限
12	おしゃれ工房	日本放送出版協会	月刊	1年
13	活字倶楽部	雑草社	季刊	1年
14	関西ウォーカー	角川書店	隔週刊	6か月
15	関西のつり	岳洋社	月刊	1年
16	cancam	小学館	月刊	1年
17	家庭画報	世界文化社	月刊	1年
18	キネマ旬報	キネマ旬報社	隔週刊	1年
19	きょうの健康	日本放送出版協会	月刊	1年
20	きょうの料理	日本放送出版協会	月刊	1年
21	Goodリフォーム	リクルート	隔月刊	1年
22	クーヨン	クレヨンハウス	月刊	1年
23	暮しの手帖	暮しの手帖社	月刊	永年
24	クロワッサン	マガジンハウス	隔週刊	1年
25	芸術新潮	新潮社	月刊	1年
26	月刊自家用車	内外出版社	月刊	1年
27	月刊 News がわかる	毎日新聞社	月刊	1年
28	月刊バスケットボール	日本文化出版	月刊	1年
29	月刊バレーボール	日本文化出版	月刊	1年
30	現代	講談社	月刊	1年
31	国民生活	国民生活センター	月刊	1年
32	こっこクラブ	ベネッセコーポレーション	月刊	1年
33	Cobalt	集英社	隔月刊	1年
34	ゴルフダイジェスト	ゴルフダイジェスト社	週刊	6か月
35	碁ワールド	日本棋院	月刊	1年
36	ザ・スニーカー	角川書店	偶数月	1年
37	サライ	小学館	隔週刊	1年
38	3分クッキング	日本テレビ放送網	月刊	1年
39	将棋講座	日本放送出版協会	月刊	1年
40	小説現代	講談社	月刊	1年
41	趣味の園芸	日本放送出版協会	月刊	1年
42	主婦の友	主婦の友社	月刊	1年
43	JJ	光文社	月刊	1年
44	JTB 時刻表	JTB パブリッシング	月刊	1年
45	週刊サッカーマガジン	ベースボール・マガジン社	週刊	6か月
46	週刊新潮	新潮社	週刊	6か月
47	週刊ダイヤモンド	ダイヤモンド社	週刊	6か月
48	週刊文春	文藝春秋	週刊	6か月
49	週刊ベースボール	ベースボール・マガジン社	週刊	6か月

	誌名	出版社名	発売周期	保存期限
50	新潮 45	新潮社	月刊	1年
51	Swing JOURNAL	スイングジャーナル	月刊	1年
52	すてきな奥さん	主婦と生活社	月刊	1年
53	すくすく子育て	日本放送出版協会	月刊	1年
54	スキージャーナル	スキージャーナル	月刊	1年
55	スクリーン	近代映画社	月刊	1年
56	壮快	マキノ出版	月刊	1年
57	装苑	文化出版局	月刊	1年
58	短歌	角川学芸出版	月刊	1年
59	ダ・ヴィンチ	メディアファクトリー	月刊	1年
60	旅	日本交通公社	月刊	1年
61	旅の手帖	交通新聞社	月刊	1年
62	たまごクラブ	ベネッセコーポレーション	月刊	1年
63	danchu	プレジデント	月刊	1年
64	中央公論	中央公論新社	月刊	1年
65	鉄道ファン	交友社	月刊	1年
66	テニスマガジン	ベースボール・マガジン社	月刊	1年
67	天文ガイド	誠文堂新光社	月刊	1年
68	東洋経済	東洋経済新報社	週刊	6か月
69	特選街	マキノ出版	月刊	1年
70	日経トレンディ	日経ホーム出版社	月刊	1年
71	日経マネー	日経ホーム出版社	月刊	1年
72	日経 PC21	日経 BP 社	月刊	1年
73	NEWTON	ニュートンプレス	月刊	1年
74	non-no	集英社	隔週刊	1年
75	俳句	角川学芸出版	月刊	1年
76	ぴあ(関西版)	ぴあ	週刊	6か月
77	ビジネスアスキー	アスキー・メディアワークス	月刊	1年
78	ひよこクラブ	ベネッセコーポレーション	月刊	1年
79	BE-PAL	小学館	月刊	1年
80	婦人公論	中央公論新社	隔週刊	1年
81	婦人之友	婦人之友社	月刊	1年
82	FINEBOYS	日之出出版	月刊	1年
83	プラスワンリビング	主婦の友社	隔月刊	1年
84	プレジデント	プレジデント社	隔週刊	1年
85	文藝春秋	文藝春秋	月刊	1年
86	VERY	光文社	月刊	1年
87	本の雑誌	本の雑誌社	月刊	1年

	誌名	出版社名	発売周期	保存期限
88	ミステリマガジン	早川書房	月刊	1年
89	ミセス	文化出版局	月刊	1年
90	みんなの図書館	教育史料出版会	月刊	永年
91	ムー	学習研究社	月刊	1年
92	モダンリビング	アシェット婦人画報社	隔月刊	永年
93	MORE	集英社	月刊	1年
94	MOE	白泉社	月刊	1年
95	山と溪谷	山と溪谷社	月刊	1年
96	YOMIURI PC	読売新聞出版局	月刊	1年
97	歴史街道	PHP 研究社	月刊	1年
98	ROCKIN 'ON JAPAN	ロッキング・オン	月刊	1年

### 寄贈雑誌一覧

	誌名	出版社名	発売周期	保存期限
1	あうる	NPO 図書館の学校	月刊	永年
2	WEDGE	ウェッジ	月刊	1年
3	WellAge Woman	ウェルエイジ	季刊	1年
4	FFI ジャーナル	FFI ジャーナル編集委員会	月刊	1年
5	外交フォーラム	都市出版	月刊	1年
6	関西俳句	関西俳詩連盟	季刊	1年
7	Cabi ネット	時事画報社	隔週刊	1年
8	現代の図書館	日本図書館協会	季刊	永年
9	COMPASS	リックテレコム	季刊	1年
10	CEL	大阪ガスエネルギー 文化研究所	季刊	1年
11	自治体国際化フォーラム	自治体国際化協会	月刊	1年
12	Jica	国際協力機構	月刊	1年
13	醸界春秋	醸界通信社	月刊	1年
14	消費者情報	関西消費者協会	不定期	1年
15	図書館雑誌	日本図書館協会	月刊	永年
16	PHP	PHP 研究所	月刊	1年
17	Fishing Café	シマノ	季刊	1年
18	武道	日本武道館	季刊	1年
19	FOOD FUNCTION	国際食品機能学会	不定期	1年
20	まみたん	ばど	月刊	1年
21	ミルククラブ	創季社	不定期	1年
22	予防時報	日本損害保険協会	季刊	1年
23	留学ジャーナル	国際文化協力センター	季刊	1年
24	リベラルタイム	リベラルタイム出版社	月刊	1年

# 条例・規則等

## 大阪狭山市立図書館条例

平成 17 年 9 月 27 日

条例第 35 号

大阪狭山市立図書館条例(昭和 28 年大阪狭山市条例第 34 号)の全部を改正する。

(設置)

第 1 条 図書館法(昭和 25 年法律第 118 号。以下「法」という。)第 10 条の規定に基づき、大阪狭山市立図書館(以下「図書館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 図書館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
大阪狭山市立図書館	大阪府大阪狭山市今熊一丁目 106 番地

(事業)

第 3 条 図書館は、次に掲げる事業を行うものとする。

法第 3 条各号に掲げる事業

(2)前号に掲げるもののほか、図書館の目的を達成するために必要な事業

(指定管理者による管理)

第 4 条 図書館の管理は、地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 244 条の 2 第 3 項の規定により、法人その他の団体であって、大阪狭山市教育委員会(以下「委員会」という。)が指定するもの(以下「指定管理者」という。)に行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第 5 条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

(1)図書館の施設及び設備の維持管理に関する業務

(2)第 3 条各号に掲げる事業の計画及び実施に関する業務

(3)前 2 号に掲げるもののほか、委員会が必要と認める業務

(開館時間)

第 6 条 図書館の開館時間は、午前 10 時から午後 5 時 15 分までとする。ただし、指定管理者が特に必要と認めるときは、委員会の承認を得て、開館時間を変更することができる。

(休館日)

第 7 条 図書館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者が特に必要と認めるときは、委員会の承認を得て、臨時に開館し、又は休館することができる。

(1)毎月の末日

(2)12 月 29 日から翌年 1 月 4 日まで

(3)特別整理期間(毎年 1 回 10 日以内の範囲で指定管理者が定める日)

(入館の制限)

第 8 条 指定管理者は、入館者が次の各号のいずれかに該当するときは、入館を制一限し、又は退館を命ずることができる。

(1)公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認めるとき。

(2)図書館の施設・設備・図書館資料その他の物件を損傷し、若しくは滅失し、又はこれらの行為をするお

それがあるとき。

(3)前2号に掲げるもののほか、指定管理者が管理上支障があると認めるとき。

(利用の制限)

第9条 指定管理者は、この条例及びこの条例に基づく規則の規定並びに指定管理者の指示に違反した者に対しては、図書館資料の利用を一時停止し、又は禁止することができる。

(図書館資料の貸出し)

第10条 図書館資料の貸出しを受けることができるものは、次のとおりとする。

- (1)本市の区域内に住所を有する者
- (2)本市の区域内に存する事務所又は事業所に勤務する者
- (3)本市の区域内に存する学校に在学する者
- (4)他の図書館、公民館、学校その他の教育機関
- (5)市内の地域団体、職域団体及び社会教育関係団体
- (6)前各号に掲げるもののほか、指定管理者が特に必要と認めるもの

(損害賠償)

第11条 図書館の施設、設備、図書館資料その他の物件を損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。

(委任)

第12条 この条例に定めるもののほか、図書館の管理及び運営について必要な事項は、委員会が別に定める。

附則

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

## 大阪狭山市立図書館管理運営規則

平成18年2月24日

教委規則第4号

大阪狭山市立図書館管理運営規則(昭和58年教委規則第3号)の全部を改正する。

(趣旨)

第1条 この規則は、大阪狭山市立図書館条例(平成17年大阪狭山市条例第35号。以下「条例」という。)第12条の規定に基づき、大阪狭山市立図書館(以下「図書館」という。)の管理運営について、必要な事項を定めるものとする。

(館長等)

第2条 図書館に館長その他必要な者を置く。

(利用の手続)

第3条 図書館資料(以下「図書」という。)の個人貸出しを受けようとする者は、図書利用カード(様式第1号)を指定管理者(条例第4条に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に提示しなければならない。

2 前項の図書利用カードの交付を受けようとする者は、条例第10条第1号から第3号までのいずれかに該当するものであることを証明できる書類等を提示し、大阪狭山市立図書館館外貸出申込書(様式第2号)を指定管理者に提出しなければならない。

(図書利用カードの有効期間)

第4条 図書利用カードの有効期間は、5年間使用がない場合に限り無効とする。

(貸出冊数)

第5条 図書利用カードにより貸出しを受けることのできる図書の冊数は、1人10冊以内とする。ただし、指定管理者が必要と認める場合は、この限りでない。

2 前項本文の場合において、未返納の図書があるときは、その冊数とあわせて10冊を超えることができない。

(貸出期間)

第6条 図書利用カードによる図書の貸出期間は、当該図書の貸出しを受けた日の翌日から起算して2週間とする。ただし、指定管理者が必要と認める場合は、この限りでない。

(団体貸出し)

第7条 図書の団体貸出しを受けようとする団体(条例第10条第4号又は第5号に該当するものに限る。)の代表者は、大阪狭山市立図書館団体登録・館外貸出申込書(様式第3号)を指定管理者に提出しなければならない。

(団体貸出冊数及び貸出期間)

第8条 団体貸出しに係る図書の貸出冊数は、当該団体等の規模等に応じて指定管理者が指定し、貸出期間は6箇月以内とする。ただし、指定管理者が必要と認める場合は、その冊数及び期間を別に指定することができる。

(貸出しをしない図書)

第9条 貸出しをしない図書は、次のとおりとする。

- (1) 貴重図書
- (2) 特別集書図書
- (3) 前2号に定めるもののほか、指定管理者が指定する図書

(図書利用カードの紛失の届出)

第10条 利用者は、図書利用カードを紛失したときは、大阪狭山市立図書館図書利用カード再発行申込書(様式第4号)により、直ちに指定管理者に届け出なければならない。

(変更の届出)

第11条 利用者は、第3条第2項及び第7条に規定する館外貸出申込書の記載内容に変更が生じたときは、大阪狭山市立図書館館外貸出申込書変更届(様式第5号)により、直ちに指定管理者に届け出なければならない。

(図書の紛失)

第12条 貸出中の図書を紛失し、又は損傷したときは、大阪狭山市立図書館図書資料紛失・損傷届出書(様式第6号)を指定管理者に提出し、その損害を賠償しなければならない。

2 前項に規定する図書の損害は、現物をもって弁償するものとする。ただし、現物での弁償が困難な場合は、同等品をもって弁償しなければならない。

3 利用者が児童等の場合は、保護者がその責務を負うものとする。

4 貸出中の資料が火災による焼失の場合は、り災証明をもって免除する。

(寄贈及び寄託)

第13条 大阪狭山市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、大阪狭山市立図書館資料の寄贈・寄託申込書(様式第7号)により、図書の寄贈又は寄託の申出を受けることができる。

(委任)

第 14 条 この規則の定めるもののほか、図書館の管理及び運営について必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の際現に図書館から図書の貸出しを受けている者は、この規則による改正後の大阪狭山市立図書館管理運営規則の規定により、図書の貸出しを受けた者とみなす。

## 大阪狭山市立図書館資料選定基準

(主旨)

第 1 条 この要領は、大阪狭山市立図書館資料収集規定に基づき、図書館の資料選定にあたっての具体的な判断基準を定める。

(一般図書、参考図書選定基準)

第 2 条 一般図書、参考図書の選定基準は、次のとおりとする。

(1) 一般図書は、市民の教養、調査研究、レクリエーションに資するため、基礎的、入門的な図書から概説書、専門書まで各分野わたり幅広く収集する。ただし、学習参考書、各種試験問題集は、原則として収集しない。

(2) 参考図書は、市民の日常の調査研究に必要な事典、辞典、年鑑、図鑑、人名事典、地図、年表、書誌、目録などを収集する。

(一般図書、参考図書選定の留意点)

第 3 条 前条の原則をふまえた上で、日本十進分類法による各分野の選定にあたっての留意点は、次のとおりとする。

(1) 0 類 総記

ア 技術革新が著しく、社会的影響も大きい情報科学は、最新の情報を収集するように努める。

イ 図書館に関する資料、書誌、目録等は、積極的に収集する。

ウ 市民に多様な本の世界を紹介したものは、積極的に収集する。

エ 百科事典は、類書も含めて最新版に留意し、豊富に収集する。

オ 年鑑は、レファレンスに役立つものを収集する。

(2) 1 類 哲学・心理学・宗教

ア 哲学、心理学、宗教については、初学者のための入門書、概説書に留意し、各分野の代表的原典を含めた基本書を体系的に収集する。

イ 超心理学、易占については、できる限り科学的な立場から記述された資料を収集する。

(3) 2 類 歴史・伝記・地理

ア 歴史については、一般向けに書かれた歴史読物から入門書、概説書、研究書、史料まで、多様なレベルのものを収集する。また、様々な歴史観に立って書かれたものを広く収集する。

イ 伝記については、人名事典等レファレンスに役立つものを豊富に収集する。

ウ 地図、旅行案内については、最新版に留意し、正確な情報を提供できるように努める。

(4) 3 類 社会科学

ア 社会科学は、その時代性と深く結びついている分野なので、今日的テーマ

を重視し、入門書、概説書を中心に新鮮な資料を収集する。

イ 法律、経済、社会、家庭教育、風俗習慣等、日常生活及び実務上に必要な実用書、実務書は豊富に収集する。

ウ 社会評論は、様々な観点から書かれたものを広く収集する。

エ 法律については、法律改正に留意し、新しい情報を提供できるように努める。また、法令集、判例集は、広く収集する。

オ 社会保障、女性・高齢者問題、社会福祉等、社会的関心の高いものは、積極的に収集する。

#### (5)4類 自然科学

ア 自然科学は、その進展が著しい分野なので、最新の情報を提供できるよう留意する。

イ 自然科学の各分野は、非常に細分化・専門化されているので、個別分野の専門的な学術書は、原則として収集しない。

ウ 図鑑等、レファレンスに役立つものは、豊富に収集する。

#### (6)5類 技術・工学・生活科学

ア 科学技術は、その進展が著しい分野なので、最新の情報を提供できるよう留意する。

イ 極めて専門的な学術書は、原則として収集しない。

ウ 趣味や実用に役立つ資料は、豊富に収集する。

エ 通信工学については、最新の情報に留意し収集する。

#### (7)6類 産業

ア 園芸やペットの飼い方等、趣味に役立つ資料は豊富に収集する。

イ ビジネスや産業経営に役立つ資料を収集する。

#### (8)7類 芸術

ア 市民の教養、趣味、娯楽に役立つ資料を鑑賞・研究と創作・実技等の両面にわたり広く収集する。

イ 趣味として手がける人の多い分野については、入門書を中心に収集する。

また、ある程度上級の人々の要望にこたえられるよう留意し収集する。

ウ 美術全集、画集、写真集等は、基本的なものを中心に収集する。ただし、高価なものが多いので、利用度と価格のバランスに考慮する。

#### (9)8類 言語

ア 市民の教養、学習、実用に役立つ資料を収集する。

イ 辞典類は、基本的なものを中心に収集する。また、一部貸出しできるものも用意する。

#### (10)9類 文学

ア 市民の利用が最も多い分野なので、豊富な資料を収集する。

イ 文学理論、文学史については、入門書、概説書を中心に収集する。

ウ 古典的作品は、文学史上評価の高い作品を中心に収集する。

エ 現代作家の作品は、受賞作品や話題性に留意し、広く収集する。

#### (11)漫画

ア テーマ、ストーリー、素材の扱い方等を検討し収集する。

イ 受賞作品や話題になった作品に留意し収集する。

(児童図書選定の留意点)

第5条 児童図書は、幼児から中学生まで、どの年齢の子どもにも読書の楽しみを発見し継続できるように、それぞれの発達段階を考慮し、絵本、幼年文学、児童文学、科学読物・実用書などを各分野にわたり



幅広く収集する。ただし、学習参考書、各種問題集は、原則として収集しない。

2 資料は、原則として子ども向けとして出版されたものを収集する。ただし、大人向けに出版されていても、子どもが関心を持って読むことができるものは、収集の対象とする。

3 受入れた本については、その後の子どもたちの利用状況や評価を見ながら検討し、さらに資料選定に生かしていく。

(児童図書選定の留意点)

第5条 前条の原則をふまえた上で、各分野の選定にあたっての留意点は、次のとおりとする。

(1) 科学読物・参考図書・実用書

ア 自由研究、調べ学習に役立つものであること。

イ 写真や図版が豊富で、分かりやすく記述されていること。

ウ 新しい情報や研究成果に基づく内容であること。

エ 趣味やスポーツ等の実用書については、入門書(鑑賞、実技、ルール等)から、やや高度なものまでを収集する。

オ 学習漫画については、主題・内容等を検討し収集する。

(2) 絵本

ア 絵が見るものにうったえかける力を持っていること。

イ 絵がストーリーを語っていること。

ウ 絵と文が一体化されていること。

エ 様々な言語で書かれたものを必要に応じて収集する。

(3) 文学

ア それぞれの発達段階を考慮し、どの年齢の子どもにもこたええられるものを収集する。

イ 古典から現代の作品まで、また、昔話・伝説、フィクション・ノンフィクションまでの各ジャンルを幅広く収集する。

(逐次刊行物選定基準)

第6条 新聞は、国内発行の主要な日刊紙を中心に各種新聞を収集する。

収集するジャンルは、次のとおりとする。

(1) 全国一般紙

(2) 夕刊紙

(3) スポーツ紙

(4) 南河内を中心としたミニコミ紙

(5) その他、経済、英字・政党機関紙・子ども向け新聞など

2 雑誌は、新鮮で豊富な情報が得られる資料なので、市民の暮らしや楽しみに役立つもの、調査研究に役立つものを中心に、できる限り多くの種類の収集に努める。

なお、海外で発行された雑誌についても収集する。ただし、漫画雑誌は、原則として収集しない。

主要な収集分野は、次のとおりとする。

(1) 総合雑誌

(2) 出版情報に関する雑誌

(3) 時事に関する雑誌

(4) 文芸雑誌

(5) 女性雑誌

- (6)生活情報誌
  - (7)スポーツに関する雑誌
  - (8)レジャーに関する雑誌
  - (9)芸術に関する雑誌
  - (10)人文科学・社会科学・自然科学の基本的な雑誌
  - (11)南河内を中心とした地域ミニコミ誌
  - (12)子ども向け雑誌
- (郷土資料選定基準)

第 7 条 郷土を知り郷土に対する正確な認識を得るための資料は、地元の図書館が責任をもって積極的に収集する必要がある。大阪狭山に関連する資料や大阪狭山で発行された資料は、地域的に限定されており、誰もがいつでも入手できるとは限らないからである。

図書館は、歴史的・文化的資料から今日的な資料まで幅広く、また、他地域資料も十分に視野に入れ、図書(活字本)、逐次刊行物(新聞・紀要・地域ミニコミ誌、同人誌等)、行政資料、パンフレット・チラシなど、資料の種類にも留意し収集する。

(視聴覚資料選定基準)

第 8 条 視聴覚資料は、活字以外のメディアによる情報伝達手段である。文字言語によって得られにくい知識や情報をわかりやすく紹介しているものに留意して、ビデオ・テープ、ビデオ・ディスク、オーディオ・テープ、オーディオ・ディスク等を収集する。また、視覚・聴覚障害者等の利用に供する資料も収集する。

2 紙芝居は、印刷紙芝居だけでなく、街頭紙芝居や手づくり紙芝居についても収集する。

以下の点に留意し収集する。

- (1)紙芝居は、絵を抜くときに動きを表すことができる。この性質を生かし、絵に動きのあるもの。
- (2)絵と語りが調和しているもの。
- (3)はっきりとした輪郭と色使いで、絵が遠くから見えるもの。
- (4)脚本の場面割りに工夫がなされているもの。
- (5)発想がおもしろいもの。

(障害者用資料選定基準)

第 9 条 視聴覚障害者等の利用に供するため、録音図書、点字資料、大型活字本等を収集する。

(その他の資料選定基準)

第 10 条 パンフレット、リーフレット等は、必要に応じて収集する。

(複本)

第 11 条 複本の扱いについては、次のとおりとする。

- (1)地域資料は、閲覧できるように冊数の確保に努める。
- (2)評価の定まった図書や利用の多い分野については、常に書架に並べておけるよう、図書館システム全体の中で必要な複本や類書を十分に用意する。
- (3)資料を早く提供し利用者の信頼を高めるために、予約の集中する資料(ベストセラーや話題の本)については、複本を早い時期に揃えるように努める。

## 大阪狭山市立図書館資料収集規定

(趣旨)

第1条 この規定は、大阪狭山市立図書館管理運営に規定する図書資料(以下「資料」という。)の選択・収集にあたっての基本的な方針を定める。

(基本方針)

第2条 図書館は、公立図書館が資料提供を通じて、市民の学習する権利、知る自由を保障し、地域文化の創造に奉仕する機関であることを認識し、市民の資料要求に応えるとともに、その要求に役立つ資料を次の基本方針に基づき選択・収集する。

- (1) 多様な対立する意見のある問題については、それぞれの観点に立つ資料を収集する。
- (2) 著者の思想的、宗教的、党派的立場にとらわれて、その著作を排除することはしない。
- (3) 図書館職員(以下、「職員」という。)の個人的な関心や好みによって資料の選択をしない。
- (4) 個人・組織・団体からの圧力や干渉によって収集の自由を放棄したり、紛糾をおそれて自己規制したりしない。
- (5) 図書館の収集した資料がどのような思想や主張をもっていようと、それを図書館及び職員が支持することを意味するものではない。

(収集資料の種類)

第3条 収集する資料の種類は、次のとおりとする。

- (1) 図書(一般図書・参考図書・児童図書)
- (2) 逐次刊行物
- (3) 郷土資料
- (4) 視聴覚資料
- (5) 障害者用資料
- (6) その他

2 収集する資料は、国内で刊行された資料を中心とし、全分野にわたり幅広く収集する。ただし、洋書については必要に応じて収集する。

(資料選択の組織)

第4条 図書館には、資料の選択を行なうため、選定会議を設置する。

2 選定会議は、図書館長が主催し、指名した職員で組織する。

3 資料の選択についての最終責任は、図書館長とする。

4 前3項に定めるもののほか選定会議の組織と運営については、別に定める。

(資料に関する要求の尊重)

第5条 図書館は、常に市民の資料についての要求を把握し、収集に生かすように努める。

(資料の更新・除籍)

第6条 図書館は、常に新鮮で適切な資料構成を維持し、充実させるために資料の更新、除籍を行なう。

第7条 寄贈資料の受入についてもこの規定を適用する。

(公開)

第8条 図書館は、資料収集について、広く市民の理解と協力を得るため、市民の求めに応じ資料収集の基本方針を公開するものとする。

(委任)

第9条 この規定に定めるもののほか、資料収集に関して必要な事項は、別に定める。

## 指定管理者概要・沿革

### 概要

名称	株式会社図書館流通センター
設立	昭和 54 年 (1979 年) 12 月 20 日
資本金	2 億 6605 万円
売上高	315 億 2648 万円 (2008 年 3 月期)
従業員数	265 名 (男 134・女 131) (2008 年 6 月期)
図書館スタッフ数	1,280 名 (2008 年 3 月期) 公共図書館は 108 館
代表取締役会長	石井 昭
代表取締役社長	谷一 文子 (サポート事業担当兼任)
本社	〒112-8632 東京都文京区大塚 3 丁目 4 番 7 号 TEL:03-3943-2221 (代表)

### 沿革

昭和 54 年 (1979 年)	株式会社図書館流通センター設立
昭和 57 年 (1982 年)	TRC MARC 発売開始
平成元年 (1989 年)	新刊書在庫システム「ストックブックス (SB)」運用開始
平成 2 年 (1990 年)	図書在庫センター「新座ブックナリー」開設
平成 8 年 (1996 年)	福岡市総合図書館運営業務委託開始
平成 11 年 (1999 年)	新図書在庫・装備センター「志木ブックナリー」開設
平成 12 年 (2000 年)	オンライン書店「bk1」(ピーケーワン)設立
平成 13 年 (2001 年)	図書館専用インターネットサービス「TOOL」(ツールアイ)運用開始
平成 14 年 (2002 年)	株式会社 TRC サポート&サービス設立
平成 15 年 (2003 年)	TRC 図書館専用 IC システム提供開始
平成 16 年 (2004 年)	国内初の PFI 図書館「桑名市立中央図書館」開館 (運営部門を担当)
平成 17 年 (2005 年)	国内初の本格的な指定管理者制度導入館 北九州市立図書館 (門司図書館ほか 2 館) の業務開始 プライバシーマーク取得
平成 18 年 (2006 年)	筑波大学大学院に「図書館経営管理コース」として図書館経営寄附講座を開講 岩手県立図書館 (指定管理者) の業務開始 株式会社 TRC サポート&サービスと株式会社ピーケーワンを合併
平成 19 年 (2007 年)	大阪狭山市立図書館 (指定管理者) の業務開始 平成 21 年度まで 3 年間の協定 次代を担う図書館スタッフ育成の場として「ライブラリーアカデミー®」開講
平成 20 年 (2008 年)	OCLC (世界最大の書誌ユーティリティ) へ TRC MARC 提供開始 図書館振興に尽くすことを目的に財団法人図書館振興財団を設立

**図書館年報** 平成 20 年度

平成 21 年 5 月 31 日発行

編集・発行 大阪狭山市立図書館

指定管理者 (株)図書館流通センター

〒589-0021

大阪府大阪狭山市今熊 1 丁目 106

TEL : 072-366-0071

FAX : 072-066-0052

サイト : <http://www4.city.osakasayama.osaka.jp/>

ブログ : <http://blog.goo.ne.jp/sayamatrc/>